

令和4年6月27日 佐藤

## ～ ゴミ拾いは、スポーツだ！区役所周辺のゴミを拾って、スコアを競う！～ 子どもPR大使が「スポGOMI in すみだ環境フェア2022」に出場しました！

6月25日（土）に、すみだリバーサイドホール（墨田区吾妻橋1-23-20）ほかで開催された環境イベント「すみだ環境フェア2022」の中で、スポーツイベント「スポGOMI in すみだ環境フェア2022」が同時開催され、すみだ子どもPR大使が出場した。

「スポGOMI」は、チームで制限時間内に定められたエリア内でゴミを拾い、その量と質をポイント制で競うもので、これまでの社会奉仕活動を「競技」に変換させた日本発祥の「地球に最もやさしい」スポーツである。一般社団法人ソーシャルスポーツイニシアチブが運営し、全国各地で開催されており、区では平成24年度から実施している。今年は、事前に申し込みを受け付けた全21チームが出場し、競技を行った。すみだ子どもPR大使も、環境問題への取組について学び、発信するため、3チーム出場した。

開会式では、PR大使5期生の平沼巧（ひらぬまたくみ）さんと、梅田莉那（うめだりな）さんが、出場する全チームを代表して、元気な声で選手宣誓を行った。

この日の予想最高気温は35度。熱中症にならないよう、水分補給などをしっかりしながら、子どもたちはあらかじめ定められたエリア（主に区役所周辺）に捨てられたたばこの吸い殻や空き瓶、段ボール箱や壊れたビニール傘などといったゴミを一生懸命に集めた。

参加した3チームの最終結果は、それぞれ6位（Bチーム）、11位（Cチーム）、15位（Aチーム）となった。参加した子どもたちからは、「とても暑かったけど楽しかった」「よく見てみるとたくさんゴミが落ちていてびっくりした」「入選できなくて悔しい」など、ゴミ拾いを通してチームで力を合わせる達成感や爽快感、負けた悔しさなどを感じたようだ。

大会終了後には、すみだ環境フェアの会場のブースに移動し、出展団体の環境に関する取り組みや、自転車を使った発電体験など、楽しみながら学んだ。

今後のすみだ子どもPR大使の活動は、すみだトリフォニーホールでの『サウンドハグ体験会』への参加を予定している。

《写真》 開会式での選手宣誓



競技中の様子



《問合せ》企画経営室広報広聴担当 03-5608-6220

お問合せは、午後5時までにお問い合わせいたします。（広報広聴担当 03-5608-6220）

《参考》「すみだ子ども PR 大使」について

すみだの魅力を幅広く発信する特命大使で、令和4年5月に実施したワークショップ修了後、区長から「すみだ子ども PR 大使」に任命される。

概要：<https://www.city.sumida.lg.jp/kuseijoho/kouhoukatudou/kodomo-pr-taisi/gaiyou.html>

対象：区内在住の小学3年生～6年生（令和4年度任期：令和5年3月末まで）

人数：21名（4期生：10名、5期生：11名）